

# 上海かわの版

上海日本人学校浦東校  
野田 剛

平成26年1月

みなさん、あけましておめでとうございます。上海日本人学校の野田です。先日、天気予報で北海道・帯広市の最高・最低気温を見ましたが、最低気温がマイナス14度でした。とても寒いかと思いますが、体調に気を付けて寒い冬を楽しんでください。

さて、今回のかかわら版では、お正月の様子についてお伝えします。

中国のお正月は、2回あります。通常の1月1日と、旧正月です。旧正月は別名『春節』と呼ばれています。時期は1月下旬です。こちらでは圧倒的に旧正月をお正月として位置づけ、1月1日は、ふつうの祭日と同じくらいの扱いです。

ただ、日本人には、1月1日が新年の始まりという思いが強いので、日本人がたくさん住んでいるところでは、餅つきをしたり獅子舞の舞を見たりします。春節は、もっと盛大に新年のお祝いを行います。それは来月号でお知らせしますね。



最近、日本のものをよく見ます！

最近、スーパーやデパートで日本の物がよく売られています。理由はいろいろあるのですが、難しい言葉で『元高円安』のため、中国で売っている日本の物の値段が安くなったたり、安全・安心が認められたりしているためだと思います。

どんな物があるかといいますと、水・おかし・お酒などです。北海道の物もけっこうありますし、豚丼を出す店も出てきました。ここにいるときには、あまり外国にいる気がしなくなります。懐かしい気持ちになります。安心・安全な物として、世界に認められている日本製品。日本人として、とても嬉しく思います。

さて、次号では、中国最大の祭日、春節についてお送りします。楽しみに！

